

ホッと心愛



このコーナーは、市内で福祉活動をされている方や
団体にスポットを当てたインタビューコーナーです。

10月から始まった赤い羽根共同募金運動。街頭募金では市内のさまざまな団体の皆さんに茅ヶ崎駅周辺などの街頭で募金活動を行っていただいております。

今回のホッと心愛は、昨年、街頭募金にご協力いただいた神奈川県立鶴岡高等学校JRC部の皆さん取材させていただきました。今回の取材、生徒さんは分散登校中でお会いできません。アンケート形式で行わせていただきました。

○JRC部顧問の山岸先生へ質問します！
Q 普段、JRC部ではどんな活動をされていますか？



コロナ以前の活動としては、文化祭におけるパン販売の他、アロハマーケット、春の市民まつり、海岸清掃、ユースボランティアのオリエンテーション、ふれあい夏祭り、高齢者施設訪問、防災フェスティバル、ヴェロフェスティバルのお手伝いや障がいを持つ子ども達とのふれあいを行いました。現在できることは、校内ゲリラ的清掃活動とPTAからの依頼によるプラントナー水やり程度です。
Q 街頭募金に関わることになったきっかけは何ですか？

○生徒の皆さんへ質問します！
Q 街頭募金に参加してみたいか？

初めての体験だったので緊張していましたが、思っていたよりも募金を入れてくれる人が沢山いてとても温かい気持ちになりました。
募金というのはなかなか集まらないと分かっていましたが、実際無視などもあって少し嫌に感じることもありましたが、中には1回の募金で千円単位をいれてくれる人もいてじーんとくるものがあり、やっぱり募金に立つてよかったと思いました。

はじめはどうすればいいのかわからなかったけれど、手本を見て大きな声を出して多くの人に声をかけて募金してもらえて嬉しかったです。募金をしてくださった方の中には「がんばってね」と応援してくださる人もいて大変励みになりました。
○お子様やお年寄りの方まで、幅広い年齢層の方が募金に協力してくださったので、地域の皆様の善意を身近で感じることができたと思います。

Q 街頭募金をやってみようと思ったきっかけは何ですか？やってみて何か変化はありましたか？
A コロナ禍で、思うようにボランティアができなくてもかしく思っているところに募金活動の案内がきたからです。やはりボランティアは人生において素晴らしい経験になることを再確認できました。

きっかけは部活の企画からでした。今まで一度も街頭募金を行ったことがなかったのでやってみようと思いましたが、やってみて思ったのは募金に関わらず、ボランティアは学べるものがたくさんあると改めて思いました。
部活でお知らせがきたときに興味を持ちました。やってみると、とてもやりがいを感じたので、またやりたいと思いました。
○コロナ禍でボランティア活動ができず、緊急事態宣言が解除されて街頭募金のボランティアができるようになったと聞いてやってみようと思いました。
Q 長引くコロナ禍ではありますが、今後やってみよう活動や福祉に関わりたいことはありますか？
A コロナ禍で使われる機会が減った場所の清掃やまたコロナがあげたら観光に来てくれた外国人のガイドなどをやってみようと思っています。
○お祭りの手伝いやコミュニケーションターのお手伝いなどをしてみたいです。



○コロナ禍で多くの人と直接コミュニケーションをとる活動は難しいので、事前準備や花植えなど少人数のグループで行えるものやってみようと思います。
○大学に入学することができたら、ボランティアセンターを活用してみたいと思っています。

コロナ禍で部活動にも制限がかかる中で、街頭募金にご協力いただき、本当にありがとうございました。昨年12月に実施した茅ヶ崎駅での街頭募金では鶴岡高校JRC部の皆さんの呼びかけに応じる制服姿の若い世代の姿も見られ、49,132円と募金も多く集まりました。
こんな時だからこそ、赤い羽根共同募金が活動をする人、募金をする人、支えられる人…とつながっていきましように。今年もどこかで「赤い羽根」をお見かけの際は、ご支援・ご協力をお願いできると幸いです。

広報紙「社協ちがさき」へのご感想や、ご意見・ご要望(「ホッと心愛」でこんな活動をピックアップしてほしい!等)をお寄せください。
eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp

送迎ボランティア募集!

市社協では、身体障がいのため外出が困難な車いす利用者を対象に、車いすごと乗れる福祉車両を使用して、通院等の送迎をボランティアさんの協力を得て行っています。あなたも送迎ボランティアになって、地域の福祉を支えてみませんか？(市社協は、道路運送法における福祉有償運送の登録事業者です)
◎活動日・時間
月～金曜日の8時30分～17時で都合の良い時間(祝日、年末年始は除く)
活動を希望される方は、担当まで電話連絡の上、一度ご来所ください。
※月1回の活動でも大歓迎です!無理のない範囲で活動できます。
※希望に応じて活動を見学することもできます。
◎お問合せ 月曜～金曜 8時30分～17時15分(祝日、年末年始は除く)
TEL:85-9650(ハンディキャブ担当まで)

空いている時間を使って、社会貢献ができるボランティアです。運転の経験を活かして、ボランティア活動をしてみませんか。

募集条件(以下の①～④を全て満たしている方)
①70歳未満の方(定年は満80歳)
②普通自動車免許を保持し、運転経験5年以上の方
③過去2年以内に運転免許停止処分を受けていない方
④国土交通省認定講習(2日間)を受講していただける方
※講習費用は市社協で負担します
※自家用車をお使いいただく「個人送迎ボランティア」も大募集中です!



ボランティアによる情報提供の支援!

～音声・点字による情報提供～
茅ヶ崎市には、視覚障がい者への情報伝達に取り組んでいるグループがあります。「茅ヶ崎音奉仕会」や「なかもみ」は、活字などを音声化し録音版にして提供しているグループで、市の「広報ちがさき」をはじめとする定期刊行物の音声化や対面朗読などを視覚障がい者の依頼によって行っています。また、「茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団」は、市広報等の点訳、拡大文字の図書作成を行っています。それぞれのグループでは視覚障がい者から個別の依頼も受けておりますので、希望の方は市社協までお問合せください。

登録ヘルパー募集!

障がいがある方の在宅生活を支えるお仕事です。職員がサポートいたしますので、初心者やブランクがある方でも大丈夫です。「週1日のみ働きたい」「短時間のみ働きたい」「眠っている資格を活かしたい」など、お気軽にお電話ください。一緒に活動しましょう!
●仕事内容 市内在住の障害者の方の居宅介護(身体介護、家事援助、通院介護)及び同行援護・移動支援
●資格要件 『介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)』以上、又は『同行援護従業者』の資格をお持ちの方 市内及び近隣市町在住の方で69歳までの方 心身ともに健康な方 自転車での移動が可能な方
●時給 1,200円～ その他別途手当等あり ●お問合せ 市社協障害者ホームヘルプ事業所 TEL:85-2090

市社協 友達募集中! LINE公式アカウント
ボランティア募集情報を中心に、市社協のイベントや福祉の情報などをタイムリーにお届けしています。
LINEの友達追加画面を開き、QRコードを読み込むか、ID[@chigasaki-shakyo]を検索して、ご登録ください!
※登録前に利用要領を必ずご確認ください。
お問合せ 市社協 広報担当 電話:(85)9650 FAX:(85)9651